

## 北欧の神秘—ノルウェー、スウェーデン、フィンランドの絵画

SOMPO 美術館(西新宿) 23.03.23~06.09

本展は、北欧3か国「ノルウェー国立美術館」「スウェーデン国立美術館」「フィンランド国立アテネウム美術館」の貴重なコレクションから選び抜かれた「約70点」の作品が展示されている。北欧は、シンプルで機能的な家具、洗練された陶磁器などで知られるが、今回の展示は、19世紀から20世紀初頭の国民的な画家たちである「エドヴァルド・ムンク」(ノルウェー)、「アクセリ、ガツレン=カッレラ」(フィンランド)、「ガーラル・ムンテ」(スウェーデン)らのこれまでのイメージと異なる、北欧の神秘的な絵画にフォーカスした多彩多用な絵画で、国内初めての本格的な催事として注目されている。

展示されている作品は、雄大な山岳や森、湖といった北欧の自然風景や北欧神話や民話から影響を受けた風景画、都市開発の影で増大する街の貧困層たちの人々の生活を、迫真的に描いた絵画までを鑑賞することができる。



エドヴァルド・ムンク

《ベランダにて》 1902年 左

ロベルト・ヴィルヘルム・エークマン 《イルマタル》 1860年 右



カーラル・ムンテ 《帰還するオースムンと姫》 1902~04年